

新年の ごあいさつ

一般社団法人 多治見法人会 会長 **館林 慶二**



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様にはつつがなく新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また平素は、多治見法人会の活動に対し格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、夏ごろから始まったワクチン接種が功を奏し、新規感染者数の減少とともに少しずつ社会が落ち着きを取り戻す中、中止していた理事会、支部会等、又各部会行事も感染対策を取りながら実施することが出来ました。一方、国内では、その是非が問われた東京2020オリンピック、パラリンピックが一年延期の末、無観客ながら開催されました。すべてのアスリートたちが自らの限界に挑み、様々な思いのこもった涙を流す姿に心を動かされた会員も多かったと思います。また、大リーグ大谷翔平選手の二刀流による大活躍等、改めてスポーツの力を感じた年でもありました。

法人会では、11月11日から17日までの「税を考える週間」に、駅前やスーパー入り口等で多治見税務署幹部のご協力を賜り、税の広報活動を実施しました。さらに、多治見・土岐・瑞浪・可児市及び御嵩町に、令和4年度税制改正に関する提言活動をおこないました。

女性部会は、10月に岐阜グランドホテルで開催された女性部会連絡協議会を主管し、「食品ロス」をテーマに発表され大変好評を博しました。また、青年部会は、模擬面接を土岐商業高校と土岐紅陵高校で、租税教室を各市小学校及び土岐商業高校・中京高校で行い大変感謝されております。

依然、予断を許さない状況ですが、引き続き財政基盤強化につながる「会員増強」と「福利厚生制度の充実」に努めると共に、社会貢献活動に邁進する所存ですので一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様にとり良き年となりますこと、併せて会員企業の益々のご繁栄を祈念し、新年のごあいさつといたします。